

1 2017年 (平成29年) 6/24 Sat. 18:00

アルディッティ弦楽四重奏団

～現代音楽のスーパー・カルテット～



【出演】
アルディッティ弦楽四重奏団
Arditti Quartet

【曲目】

- ラヴェル : 弦楽四重奏曲
- 西村 朗 : 弦楽四重奏曲第6番 (2017/世界初演)
- 細川俊夫 : 沈黙の花
- バルトーク : 弦楽四重奏曲第6番



「奇跡の音響」と称される小ホールで贅沢なひと時を。「流アールティストによる珠玉のコンサートをお楽しみください。」

2 10/6 Fri. 19:00

御喜美江 & 大田智美

～クラシック・アコーディオン 知られざる深遠な世界～



【出演】
御喜美江 (アコーディオン)
Mie Miki, Accordion

大田智美 (アコーディオン)
Tomomi Ota, Accordion

【曲目】

- 林光 : 裸の島
- J.S.バッハ : 幻想曲とフーガト短調 BWV542
- E.グリーグ : ホルベルク組曲より
- A.ピアソラ : オブリヴィオン(忘却)、エスクアロ(鮫) 他



3 11/21 Tue. 19:00

アントニオ・メネセス

～ブラジルの誇り、チェロ界の巨匠～

【出演】
アントニオ・メネセス (チェロ)
Antonio Meneses, Cello

田村 響 (ピアノ)
Hibiki Tamura, Piano

【曲目】

- ベートーヴェン : ヘンデルの「ユダス・マカベウス」の「見よ、勇者は帰る」の主題による12の変奏曲
- ショパン : チェロ・ソナタ
- J.S.バッハ : トッカータ ハ長調 BWV564より アダージョ
- ヴィラ＝ロボス : ブラジル風バッハ第2番 「カイピラの小さな汽車」
- ヒナステラ : パンペアーナ第2番
- ドビュッシー : チェロ・ソナタ 他



4 12/22 Fri. 19:00

北村英治カルテット

～クリスマス・ジャズナイト～



【出演】
北村英治 (クラリネット)
Eiji Kitamura, Clarinet

高浜和英 (ピアノ・ヴォーカル)
Kazuhide Takahama, Piano & Vocal

山口雄三 (ベース)
Yuzo Yamaguchi, Bass

八城邦義 (ドラム)
Kuniyoshi Yashiro, Drums

【曲目】

- りんごの木の下で
- ウィンター・ワンダーランド
- ザ・クリスマス・ソング
- メモリーズ・オブ・ユー
- シング・シング・シング 他

5 2018年 (平成30年) 1/22 Mon. 19:00

イザベル・ファウスト

～現代最高峰の無伴奏ヴァイオリン～



【出演】
イザベル・ファウスト (ヴァイオリン) Isabelle Faust, Violin

【曲目】

- J.S.バッハ : 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番 ホ長調 BWV1006
- 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第3番 ハ長調 BWV1005
- 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 二短調 BWV1004
- 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番 ト短調 BWV1001

1 2017年6月24日 | 土 | 18:00開演
アルディッティ弦楽四重奏団

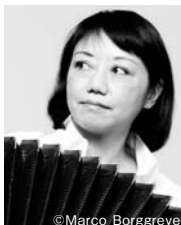


Arditti Quartet

アーヴィン・アルディッティ(第1ヴァイオリン)
Irvine Arditti, Violin
アショット・サルキシヤン(第2ヴァイオリン)
Ashot Sarkissjan, Violin
ラルフ・エーラーズ(ヴィオラ)
Ralf Ehlers, Viola
ルーカス・フェルス(チェロ)
Lucas Fels, Cello

1974年に創設。現代作品そして20世紀初期の作品の深い解釈と卓抜した演奏は、世界各地で高い評価を確立している。バートウイスル、ケージ、カーター、ファーニホウ、グバイドウーリナ、ハーヴェイ、細川、クルターク、ラッペンマン、リゲティ、リーム、シェルシ、シュトックハウゼン、クセナキスなどの作品を世界初演。日本人作曲家の作品も数多く録音・演奏。作曲家とともに作品の解釈を深めていく彼らの演奏を経て、それらの多くが今世紀の代表的なレパートリーとなっている。CDは200タイトルを超える。ナイヴレーベルからは、話題沸騰したシュトックハウゼンの「ヘリコプター・カルテット」など多数リリース。99年には、エルンスト・フォン・シーメンス賞受賞。スイスのパウル・ザッヒャー財団には演奏記録が全て収められている。88年に武満徹に招かれ初来日。以来、継続的に来日している。

2 10月6日 | 金 | 19:00開演
御喜美江 & 大田智美



御喜美江(アコーディオン)

Mie Miki, Accordion

16歳でドイツへ単身留学。1973-74年、クリンゲンタール国際アコーディオン・コンクール優勝。これまでに岩城宏之指揮・札幌交響楽団、C.デュトワ指揮・NHK交響楽団、小澤征爾指揮・サイトウ・キネン・オーケストラ等と共演。80年代より自主企画リサイタル「御喜美江アコーディオン・ワークス」を開催。高橋悠治、吉松隆、細川俊夫など現代を代表する作曲家達が御喜のために新作を多数作曲し、その数は60作品を超えている。現在、 Folkvank 芸術大学(ドイツ)副学長、新疆音楽大学(中国)名誉教授。CDは「スカラルラッティ・ソナタ集」「グリーグ:叙情小曲集」(BIS/キング・インターナショナル)、「アコーディオン・パッサ」(ナクソス・ジャパン)など国内外で多数リリース。



大田智美(アコーディオン)

Tomomi Ota, Accordion

6歳でアコーディオンを始め、10歳から江森登氏に師事。国立音楽大学附属音楽高等学校ピアノ科卒業後、渡独。デトモルト音楽大学アコーディオン教育学科、Folkvank 音楽大学芸術家コースを経て、2009年2月同大学ソリストコースを首席で卒業、ドイツ国家演奏家資格(Konzertexamen)を取得。御喜美江氏に師事。またウィーン私立音楽大学でも研鑽を積む。2009年夏に帰国後は、ソロや室内楽、新曲初演、オーケストラとの共演等、国内外各地で演奏活動を行う傍ら、音楽大学でのワークショップ講師等、特にクラシックや現代音楽の分野でのアコーディオンの普及に尽力し、この楽器の魅力と可能性を発信し続けている。

3 11月21日 | 火 | 19:00開演
アントニオ・メネセス(チェロ)



Antonio Meneses, Cello

ブラジル生まれ。16歳よりヨーロッパに渡り偉大なチェリスト、アントニオ・ヤニグロに師事、1977年ミュンヘン、82年チャイコフスキーの両国際コンクールで優勝を果たす。以来、今日に至るまで世界的なチェリストとして活躍を続けている。早くからカラヤンに評価されベルリン・フィルと共演するなど世界的なオーケストラ、指揮者との共演は数多い。また、室内楽奏者としてもフェルメール・カルテット、エマーソン弦楽四重奏団、メナヘム・プレスラー(ピアノ)、マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)等と度々共演。98年より解散までの10年間ボザール・トリオのメンバーとして世界ツアーを行う。現在バーゼル(スイス)在住。ベルン音楽院で後進の指導にもあたる。

4 12月22日 | 金 | 19:00開演
北村英治(クラリネット)



Eiji Kitamura, Clarinet

1929年東京都生まれ。慶應大学在学中にクラリネットを学び、51年南部三郎クインテットでプロデビュー。54年に自己のバンドを結成し、以来国内外でのコンサート、ディナーショー、ラジオ・テレビ出演等、幅広い演奏活動を行っている。デクシーからモダンスイングまでをこなし、クラシック曲にも挑戦するなど前進を止めない。演奏会では木管の暖かく深みのある音色と独特のフレーズで、聴衆の心を豊かに満たし、曲間のお喋りでも大いに楽しませてくれる。77年モンテレー・ジャズ祭(米国)に招かれ大好評を博し、以来アメリカはもとより、ヨーロッパ、オーストラリア等の大ジャズ祭に数多く出演し、世界的ジャズクラリネット奏者として活躍している。

2007年4月、旭日小綬章受章。

5 2018年1月22日 | 月 | 19:00開演
イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)



Isabelle Faust, Violin

1993年バガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。これまでにアバド指揮ルツェルン祝祭管、ベルリン・フィルをはじめ、ミュンヘン・フィル、バイエルン放響、ベルリン放響、ロンドン・フィル、パリ管等のオーケストラと、ハイティンク、ヤンソンス、ハーディング、ピエロフラーヴェク、ヤノフスキ等との指揮者と共演。CDはハルモニア・ムンディより、「J.S.バッハ:無伴奏ソナタ&パルティータ集」、「モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲(全曲)」(アントニーニ指揮イル・ジャルディーノ・アルモニコ)、等多数リリースし、数多くの賞を受賞している。使用楽器は、ストラディヴァリウス「スリーピング・ビューティ」(1704年製)。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Music Education Program》を開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

